



関係者代表によるオープニングのテープカット

この3月、市町村合併により誕生した八峰町。その八森地区国道101号沿いにある、温泉施設ハタハタ館隣に、この春オープンした農林水産物直売施設「ぶりこ」。公設民営型の同施設がもたらす相乗効果に期待して、地域の振興・活性化に繋げていきます。

地域産業と観光の振興の起爆剤、産直施設「ぶりこ」(八峰町)

八峰町八森は 秋田音頭
でも歌われる漁業基地

今年3月27日、八森町と峰浜村が合併して誕生した「八峰町(ハツポウチョウ)」は、本県の北西部に位置し、東は県内唯一の白神自然遺産「白神山地」の登録地を有する藤里町、南は能代市、西は日本海、北は青森県に接しています。

す。

町の面積の約80%が森林で占められ、農地は10%程度で、その多くが峰浜地区にあります。また、八森地区は、「秋田名物八森ハタハタ・・・」と秋田音頭でも歌われているように、ハタハタをはじめとする漁業の町として栄え、県北部を代表する漁業基地となっています。

地域産業と観光の振興を目的に「ぶりこ」オープン

八峰町八森のJR五能線と国道101号が南北に並行して縦断する、日本海沿いにある温泉施設「ハタハタ館」隣に、この程(4月27日)町農林水産物直売施設「ぶりこ」がオープンしました。

同直売施設は、漁業をはじめとする地域産業と観光の振興を目的に、合併前の八森町



取れたての野菜・山菜コーナーで賑わいを見せる店内

新鮮な地場産物が並ぶ
公設民営の直売施設

が国の「新山村振興等農林漁業特別対策事業」の採択を受け建設したもので、木造平屋建て290㎡余りで建設費は約8千万円。
鱈の子供をたらこと言うように、本県では八タハタの子供を「ぶりこ」と言います。同直売施設「ぶりこ」の名称は、この事業を立ち上げる際の検討委員会である山村活性化推進協議会のメンバーにより、八タハタ館に隣接する様から自然に名付けられたものです。

同直売施設は、町が建設し民間が管理運営する公設民営の型の施設。管理運営は、57の個人や団体（商工業者、農林漁業者など）で構成する、「八峰町農林水産物直売施設『ぶりこ』管理運営組合」が行います。
店内には八森・岩館の両漁港から水揚げされた新鮮な魚介類や水産物加工品、地場産の野菜などが陳列されているほか、大型の水槽には活きの良い魚たちが泳いでいます。また、今が旬の白神山地の麓で取れた山菜や白神こだま酵母を使用したパンなども販売されています。



新鮮な魚介類が並ぶ鮮魚コーナーで今晚のおかずを品定め

温泉保養施設と観光市との
相乗効果に大いに期待

この大型連休にはオープンの賑わいと、山菜の時期も重なって大盛況。現在のところ土日はもちろん平日も賑わいを見せています。

町では今後、隣接の温泉保養施設八タハタ館と同直売所の相乗効果により集客力の向上を図り、さらなる地場産業と観光の振興を図って行くこととしています。

また、同町の八森漁港の近くには毎週土日に開催してい

る「はちもり観光市」がありますが、土日には同直売所に寄って観光市にも寄る、観光市に寄ってからも、直売所にも行って見るといふルートが出来つつあり、これまた直売所「ぶりこ」がオープンしたことによる相乗効果と大いに期待するところです。

現在、八タハタ館の横には平成19年5月完成予定の、県の宿泊研修施設「あきた白神体験活動センター（仮称）」が建設されており、これまでの通過型的要素が強かったものから、まずは立ち寄って頂き、さらには滞在型観光エリアへ



活きの良い鮮魚が踊る大型水槽

向けて取り組んで行く計画であります。
今後の八峰町の取り組みに注目したいところです。



色とりどりの大きな大漁旗が店内を彩ります。